

(平成 30 年 1 月 9 日受付)

### 3010運動の普及について

#### ■内容

SDGs (※) では、2030 年までの目標として「世界全体の一人当たりの食糧廃棄の半減」を掲げています。そうした中、長野県松本市が 2011 年に始めた「3010 運動」が全国的にも広がりにあるとのこと。宴会等で最初の 30 分は料理を楽しみ、お開き 10 分前には席に戻り食べきろうという運動。

市でも是非、こうした運動を呼びかけるとともに、市職員から実践していただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

#### ■回答

現在、ごみ減量の取組として、ごみ処理場の施設見学や町内会等への出前講座などの機会を捉えて、生ごみの減量方法の一例として、食品を無駄にしない・作り過ぎない等の啓発や、電気式生ごみ処理機器等の購入費を補助することにより、生ごみの減量や堆肥化による再利用を推進しています。

また、ごみ収集カレンダーや市広報紙にも掲載し、市民の皆様にも周知も図っているところです。

さらに、平成 29 年度からは、消費者庁が作成した食品ロス削減のチラシを、小学校の施設見学や生涯学習フェスティバルのリサイクル展及び各種団体による施設見学時等において配布し、食品ロス削減や 3010 運動について周知を図り普及に向けて取り組んでいるところです。

ご提言いただきました「3010 運動の普及」につきましては、食品ロス削減と併せてこれまでの取組を引き続き実施してまいります。

また、市職員の実践に向けての取組につきましては、年度変わりに多く開催されます歓送会等の機会を捉えまして、全職員に周知をしてまいりたいと考えております。

【廃棄物処理課 廃棄物対策係】

#### ※SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは

2015 年、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150 を超える加盟国首脳に参加の下、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のためのアジェンダ」が採択されました。そのアジェンダで掲げられた目標が、「SDGs (持続可能な開発目標)」です。